

令和5年4月吉日

お客様各位

登録衛生検査所
株式会社 臨床宮崎

医療情報プラットフォーム MeDaCa®アプリ

インターネットシンポジウムのご案内

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

さて、この度、弊社も提携しております、中部電力株式会社・連結子会社「メディカルデータカード株式会社」が運営する
アプリサービス「MeDaCa®/MeDaCa PRO®」に付きましての、インターネットシンポジウムが行われます。

付きましては、こちら機能概要及びシンポジウム案内を別紙のとおり添付させていただきますので、もし宜しければご覧下さい。

謹白

記

■ MeDaCa®とは

患者さん向けアプリで、患者さんご自身の医療情報を管理することができ、iPhone、Android スマートフォンの両方に対応しています。パソコン用にはウェブサービスとして提供しています。

- (1) 診察券、検査データ、処方箋、レントゲン写真、健康診断書など、紙のデータをスマートフォンのカメラで撮影し保存すること、PDFなどをアップロードすることにより、スマートフォンやパソコンで、ご自身の医療情報をいつでもどこでも閲覧できます。
- (2) 個人が MeDaCa に保存した検査データを、受診している医療機関の医師に渡すことや、逆に医療機関での検査データを受取ることができます（医療機関が MeDaCa PRO のサービスに入っている場合）。

■ MeDaCa PRO®とは

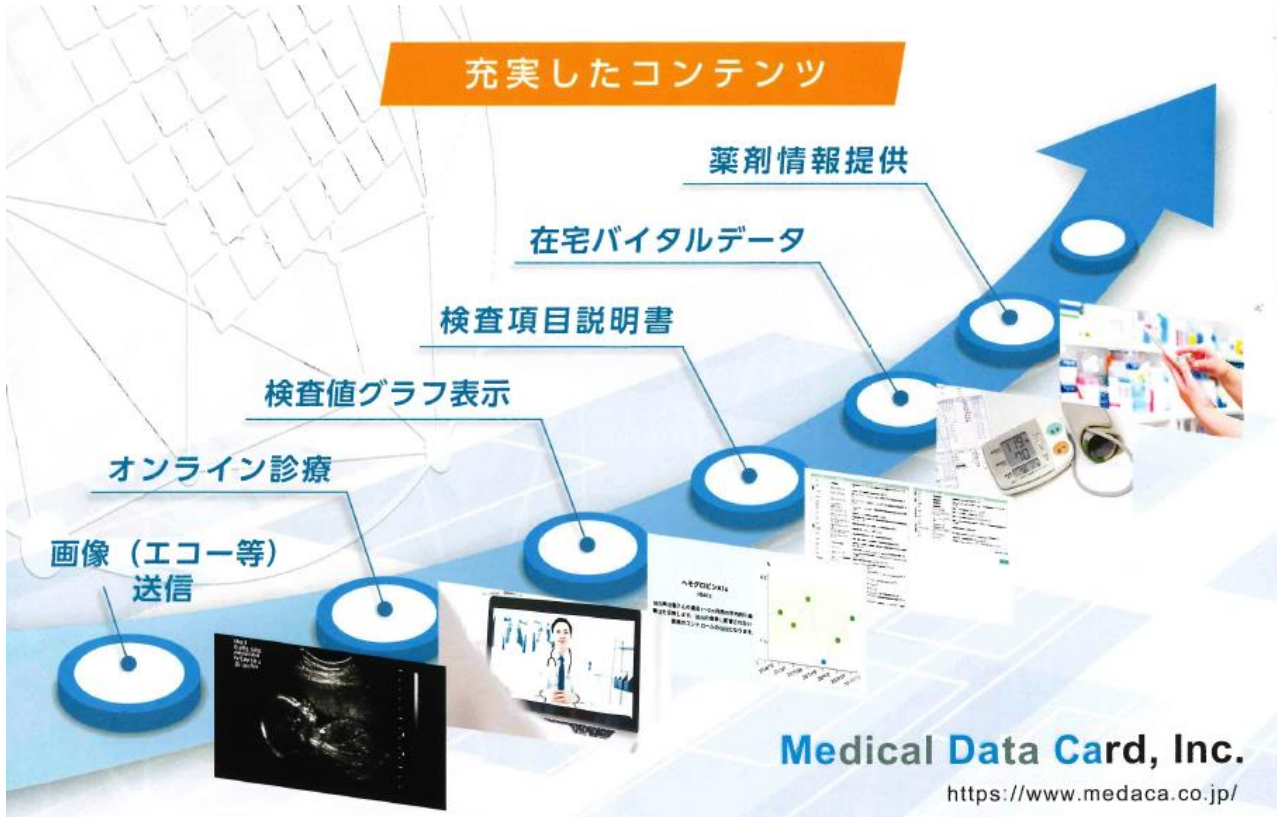
医療機関向けの患者さんとの架け橋となるウェブサービスです。

- (1) 病院やクリニックなどから、患者さんに検査データを送ることができます。また患者さんの「MeDaCa」アカウントに収納している過去の医療情報を、患者さんの許可のもと、閲覧することや受取ることが可能となります。
- (2) 医療機関から患者さんに、直接メッセージや通知を送ることができます(MeDaCa メッセージ機能)。
- (3) MeDaCa ビデオ通話機能により、医療機関から患者さんに発信する、通話料無料のテレビ電話をかけることができます(患者さん側から発信はできません)。

MeDaCa PRO[®]

患者さんと医療機関との架け橋サービス

クリニック向け



ビデオ通話で検査結果等を画面共有し、外来に近い形での遠隔診療



オンライン決済対応

医師側
画面イメージ



MeDaCa PRO[®]



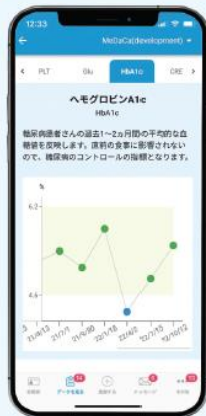
患者側
画面イメージ

患者さんアプリでの各種データ表示（イメージ図）

血液生化学検査等



検査データグラフ表示



検査項目説明書



薬剤情報の登録



ご利用料金

初期費用：0円

月額利用料：8,580円（税込）

利用開始

1ヶ月 2ヶ月

利用料：無料

有料開始

3ヶ月 4ヶ月 5ヶ月 ...

利用料：8,580円

※月中に利用を開始された場合は、ご利用開始月を含む2ヶ月が無料期間となります。

※無料期間中での退会をご希望される場合は、退会希望月の前月20日までにMeDaCa PRO サポートデスクまでご連絡ください。

第3回 Internet Symposium

— 医療現場におけるデジタルツール活用 —

日時

2023年5月24日(水) 19:00-20:00

配信

LIVE配信 ※タイムシフト機能(追っかけ再生)をご利用いただけます。

Opening
Remarks

座長

岐阜大学医学系研究科
糖尿病・内分泌代謝内科学 / 膠原病・免疫内科学 教授
岐阜大学医学部附属病院 副病院長
矢部 大介 先生

講演 1

中部電力グループが目指すヘルスケアプラットフォーム構想

演者

株式会社中部電力 専務執行役員
野田 英智

講演 2

日常診療におけるデジタルツール(MeDaCa PRO)活用事例と
PHRアプリの情報共有による多職種連携の取組

演者

安佐南内科リウマチ科クリニック 院長
舟木 将雅 先生

講演 3

明日から使える多職種連携のためのコツとツール
～KISA2隊と地域の取り組みを通して～

演者

葛西医院 院長 / KISA2隊 大阪 隊長
小林 正宜 先生

お申し込み方法



パソコンをご利用の方

Step1. ご利用のブラウザから「MeDaCa ホームページ」へアクセス
Step2. 「Symposiumのご案内バナー」をクリック

MeDaCa



スマートフォンをご利用の方

右の二次元コードを読み取り、お申し込みください。



講演 1

中部電力グループが目指すヘルスケアプラットフォーム構想

株式会社中部電力 専務執行役員 **野田 英智**

中部電力は地域に育てて頂いたインフラ会社として、これからの地域課題を支援する取組みも進めております。医療分野ではMeDaCa社とともに地域内の「医療機関と患者」をデジタルで結び、検査データをはじめとするPHRデータの収集により、医師と患者の円滑なコミュニケーションを支援し、患者ロイヤリティや治療継続率の向上を図る、医師に必要な情報提供を行うなど、地域医療を支援するソリューション開発を目指しております。

講演 2

日常診療におけるデジタルツール (MeDaCa PRO) 活用事例と PHRアプリの情報共有による多職種連携の取組

安佐南内科リウマチ科クリニック 院長 **舟木 将雅 先生**

慢性疾患での血液検査は治療開始後も疾患活動性の評価・副作用対策のモニタリングとして必要である。クリニックでの血液検査は次回受診時に結果説明となり、適切なタイミングでのフォローアップが出来ない課題があった。(MeDaCa PRO)導入により検査結果と共にメッセージを迅速に患者さんへ届けることで患者さん自身は病気や治療継続への理解を深め、副作用の迅速な対応も可能となった。日常診察に加えてデジタルツール等によるコミュニケーション頻度を高めることで治療アドヒアランスが向上するという論文も多く発表されている。また調剤薬局と連携し患者さんの検査データを共有し検査値に基づく服薬指導を開始したのでこちらも合わせて紹介する。

講演内で紹介のMeDaCa PROサービス紹介動画
(3分54秒)



お問い合わせは[運営会社]をご参照ください

講演 3

明日から使える多職種連携のためのコツとツール ～KISA2隊と地域の取組みを通して～

葛西医院 院長 / KISA2隊 大阪 隊長 **小林 正宜 先生**

地域医療の質をより良くするためには「医療介護多職種による連携」が非常に重要であることは皆様お感じになられている通りだと思います。しかしながらその連携の仕組みに多くの労力や費用がかかってしまい、うまく進まないというジレンマにはまっている数多くの事例を耳にします。連携の仕組みというのは地域をより良くするという目的のための手段に過ぎませんので、より簡単に低予算で、関わる皆さんがサクッと使える仕組みであるべきです。新型コロナ訪問診療チームKISA2隊の活動、自院や地域で取り組んできた活動を通して得たコツやツールについてご紹介しながら、連携に関わる全ての多職種の想いや志がより良い未来に繋がるためにお話させていただきます。

講演内で紹介のMCSについて
エンブレース株式会社

問い合わせ先：MCSサポートデスク
mail: support@embrace.co.jp



KISA2隊について



[運営会社]

メディカルデータカード株式会社
MeDaCa PRO サポートデスク

MAIL
inquiry-pro-desk@medaca.co.jp

TEL
03-3226-0303

営業時間
10:00 ~ 17:00 (土日祝日及び弊社所定休業日を除く)

[協力会社]

株式会社 臨床宮崎

〒880-0911
宮崎市 田吉 6269 番地 2